

# ROYAL-TIMES

～ロイヤルホームの新しい生活～



写真=4F庭園のイルミネーション

## 冬の始まり

小森 公美  
2020年12月14日

夕方、早い時間から外はもう真っ暗になりました。朝起きて、まだ真っ暗で日の短い季節がやってきました。

突然ですが、言葉遊びをしたいと思いません。「ますくすり」、「シシコト」、さて並び変えると何になるのでしょうか？

12月に入ると毎年同じような気持ちで「もう12月か、早いな」と同じような言葉を発してしまいます。障子の張り替えをしたり、普段使わない床の間の掃除をしたり、気ぜわしく動く親の姿を見ていた頃は、今とは違う目で季節の移り変わりを感じていたように思います。

並び変えた言葉は、「クリスマス」と「年越し」でした。

来年もどうぞよろしく願い申し上げます。



写真=マッスルスーツを使用している様子 CMでもおなじみのマッスルスーツを着用し腰への負担をなくします



写真=介護士と入居者様が会話している様子 (クリスマスツリーをレクで作成されたとの事)

## 11月11日は介護の日。

石井 太一  
2020年12月2日

今年も残すところ、あと1カ月となりました。道路の並木道は、すっかり落葉が進み冬の訪れが日に日に感じられます。去る11月11日は毎年、私共介護従事者が互いに「今日は何の日？」と確認し合う日となっております。11月11日は「介護の日」です。

この日は、介護、高齢者福祉に従事する者一人一人が、専門職としての姿勢や、今後における役割について振り返り、今一度考えるきっかけ作りの機会となっております。

併せて厚生労働省では「福祉人材確保重点実施期間」(11月4日～11月17日)と設定されており、関係機関に働きかけて、福祉・介護サービスの意義の理解を一層深める為の普及啓発及び人材の確保・定着を促進する為の取り組みが行われております。

今後の超高齢社会に向けて、若い世代が介護福祉士を目指し『共に働きたい』人材

が生まれていく事を私共は切に願うばかりです。

2025年には、団塊の世代が75歳を迎えられ、4人に1人が高齢者となる時代が訪れます。2040年には85歳以上の人口が急速に増加する事が見込まれており介護、医療ニーズが高まっています。各行政では2025年、2040年に向けて「地域包括ケアシステム」の構築が進められています。この政策は、地域の実情に応じて、高齢者が可能な限り、住み慣れた地域でその有する能力に応じ自立した日常生活が営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まいおよび自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制をいいます。

皆様が安心して暮らせる住まいとして、上記のケアシステムの中に、特定施設(有料老人ホーム)の総生会ロイヤルホームが地域のニーズとしてあり続けるように、11月11日「介護の日」はスタッフ一同の再確認の日となっております。

## 今月のトピック

・定期健診と健康管理

・スタッフ紹介(健康管理室)

・委員会活動報告(栄養管理委員会)

## 定期健診と健康管理

岡 聖史  
2020年12月15日

寒さが本格的になり年の終わりを迎えようとしています。皆様お健やかに過ごしてはいかがでしょうか。テレビでは連日“今日の感染者数”が更新され、またGO TOキャンペーンも一時中止となり、穏やかな年末とは言えない状況です。加えて、新型コロナウイルスのみならず、季節性の感染症(インフルエンザやノロウイルス)の脅威も懸念されているのではないのでしょうか。

そんな中、ロイヤルホームでは年に2回実施しています。入居者様の検診が11月30日から開始されています(定期健診は法令により定められており、訪問診療を受けていても必須となります)。検診の項目は、尿検査、採血、レントゲン検査を実施いたします。短期間のうちに62名のご入居者様全員をリハビリ総合病院へお連れして、上記検査を実施するので、スタッフのみならず、ご入居者様にも構えができています。

あるご入居者様は「もう、年末ね」と、恒例行事のように位置付けられていました。一方で、「この前やったのに」と時間の経過の速さに驚かれています。他方「はい、はい」と笑顔で受け流されている方もいらっしゃいました。

検診の当日は介護士がフロアから玄関までを誘導し、送迎はドライバーの石原が、病院側にはホームの看護師がスタンバイし、総勢4~5名がご入居者様を誘導いたします。一通り検査を終えて戻られる際には「ありがとう」と声をかけてもらえます。これを聞くとやめられません。

健康管理を目的とした検診は、ご入居者様だけでなくスタッフの健康維持にも必要なのではと思いました。



写真=定期健診の為、送迎にて病院へ向かう様子

## スタッフ紹介

2020年12月2日



## 振り返り

岡 聖史  
2020年11月30日

暦の数字が二けたとなると急に一年のお終わりを実感します。今年の年末行事はどうか、コロナ禍における最良とは何なのかと考える日々です。新しい生活を始めて1年経過しようとしています。習慣を変えるには多くのエネルギーと知恵が必要と感ずります。一方で、世の中を見渡すと様々なキャンペーンを始めたり、ペンディングしたり、経済についてはOld Normalなのかと素人ながらに思ってしまう。変化が求められる中で循環論に陥ってしまうと、「変わらなかった」という結果だけが残ってしまいます。ホームの運営においても循環論に陥らないように、周囲の理解と協力を仰いでいきたいと思っています。



### お知らせ

今年のクリスマス会は12/25(金)に開催いたします。当初予定していた内容の全ては実施できない状況ですので、リモートを使用し部分的に行いたいと思います。内容は、①クリスマスの点灯式、②音楽演奏、③プレゼントの配布の3つになります。ご理解の程、宜しくお願いいたします。

写真：動画でレクリエーション(王禅寺コース)

## 委員会活動報告 (栄養管理委員会)

岡 聖史  
2020年12月3日

栄養管理委員会では、ご入居者様の栄養状態を定期的に評価し、改善が必要な方には栄養計画の見直しを行っています。具体的には、食事の摂取量、摂取方法、水分の摂取量、体重の変化、BMIの変化、から低栄養の危険度が高いご入居者様を

ピックアップいたします。ここでは、性別、身長、活動度ご病気の内容によって必要となる栄養量が異なるため、低栄養の危険度が高い場合は、個別の改善計画を立案しています。

11月の委員会では、危険度の高い方が14名該当し、実際に体重の変化が確認されたのは4名でした。栄養計画の見直しを順次進めています。

委員会活動において常日頃から難しいと思う部分は、食思不振の方への改善計画立案です。ご本人様の食に対する欲求が乏しくなっている状況でも、「どうにか経口での摂取を」と考える場合は倫理的判断が必要と考えます。ご家族様を含め、ご本人様の意思を最大限反映できるように、また正確に推定できるよう進めております。